



令和6（2024）年度

## スポーツライミング埼玉県国民スポーツ大会代表選手選考基準

令和6（2024）年3月14日

（一社）埼玉県山岳・スポーツライミング協会

埼玉県代表選手を選考する権限は、（一社）埼玉県山岳・スポーツライミング協会（以下「当協会」という。）が有する。選手を選考は、以下の基準に基づき、競技部（選手強化委員会）が推薦し、当協会理事会で承認することで決定する。

### 1 選考される選手の前提条件

- (1) （公財）日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）の定める国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）参加資格を満たしている者。 ※参照  
※<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>
- (2) （公社）日本山岳・スポーツライミング協会（以下「JMCA」という。）に選考される年度の選手登録をしている者（A 登録か B 登録かは問わない）。
- (3) 当協会の会員である者（当協会加盟団体の所属、もしくは個人会員又は SMSCA 選手登録者）

### 2 選考方法と選考基準

- (1) JSP0 の定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」（以下「特例措置」という。）対象者。 ※参照  
※[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/jg\\_kitei\\_12.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/jg_kitei_12.pdf)
  - ① リード競技及びボルダー競技の種目の両方で特例措置対象になっている選手。
  - ② リード競技又はボルダー競技の種目の内、いずれかの特例措置対象になっている選手。(1)①に該当する選手は選考に際し最優先で考慮する。また、(1)②に該当する選手及び該当する複数の選手がいる場合においては、国スポの種目による JMCA が主催するジャパンカップ（以下「ジャパンカップ」という。）及び同等の競技会の成績を勘案し、考慮する。
- (2) 当協会主催の国スポ予選会（以下「予選会」という）の成績による方法。
  - ①コバトンボルダーカップの出場者。
  - ②リード加須クライミングカップの出場者。当協会の主催する予選会の成績による選考は、上位のクラス（エキスパート等）で上位の順位を有する選手を優先し、(2)①、②の予選会で同等な成績に複数の選手がいる場合には、ジャパンカップ及び同等の競技会の成績を勘案し考慮する。
- (3) 予選会が不測の事態で開催できない場合の措置については、前年度の国スポ及び国スポブロック大会、並びにジャパンカップ及び同等の競技会の成績を勘案し、総合的に判断して選考を行う。

### 3 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別3名ずつ（正代表2名及び予備登録選手1名）合計12名。（ただし、条件を満たす選手がその種別で3名に満たない場合はその限りではない。）

### 4 選考の指針 選考の優先順位は以下の通りとする。

- (1) JSP0 予選会免除対象選手。
- (2) 予選会2大会のリザルト。

国スポ関東ブロック大会及び国スポの県代表選手の選考は、その時点での力量・コンディション等を総合的に判断し、行動規範を重視し、埼玉県を代表するにふさわしい選手を最終選考する。

#### 5 補足

ジャパンカップと同等の競技会とは、JMSCA の主催する日本ユース選手権（リード、ボルダー）、及びジャパンツアー各競技会、全国高等学校体育連盟の主催する全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会をいう。

#### 6 倫理規定の順守

代表選手並びに強化選手に選考された選手は、本会の「倫理規定」を遵守するものとし、「倫理規定」に違反のあった場合は、「処分規定」により処分される。